

学外研修報告

共通機器部門・情報基盤機器管理班 開内 幸治

1. はじめに（目的等）

今回参加した第 13 回情報技術研究会は業務を遂行する上で得た知識やスキルを広く共有し、技術職員全体の技術向上と、それを手助けする情報交換の場を提供することを目的としている。業務に関係する情報を収集するため参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 3 月 19 日～20 日

場所：九州工業大学飯塚キャンパス

3. 参加者等

大学、高等専門学校、研究機関等に所属する技術職員 77 名

4. 研修内容

情報技術をキーワードとした日常の業務で習得した知識・技術や創意工夫、他分野への応用等の技術発表の聴講と意見交換会に参加。また 2 日目の午後からオプションコースとして 3 種類の演習のうち小学生向けプログラミング教室の体験を受講した。

5. まとめと感想

技術発表ではシステム構築関係について何件か発表があり興味深く聴講した。意見交換会は発表以外に時間を取り、発表者に質問等ができることでより深く話しができ大変有意義だった。オプションコースとして受講した小学生向けプログラミング教室の体験では Scratch というプログラミング言語学習環境ソフトを利用した演習を行った。課題の一つである歩行ロボットの制御プログラミングではサンプルパラメータだとロボットがこける可能性が高い。そのためパラメータを実験的に変更して調整する必要がある、うまく動作できた際の達成感は小学生にとって興味を持たせるには非常に良いと思う。このソフトではパーツをドラッグアンドドロップすることで簡単にプログラムが作成できる。よって初学者に対して興味を持たせることが容易で有用な素材だと感じた。